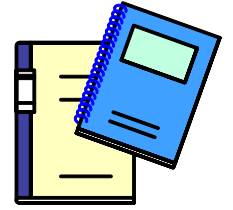


家庭学習のすすめ



1 お子さんの学習習慣づくりには家庭での言葉かけが欠かせません。

- お子さんにめあてや計画を立てさせましょう。
子供が進んで取り組もうとする姿勢が何よりも大切です。そのために、お子さんにめあてや計画を立てさせることが重要です。また、自分で立てた計画は、しっかりと守らせることが大事です。
- 続けることに価値をおきましょう。「継続は力なり」
「10分×学年+アルファ」は目安です。事情があるときは、時間を短くしても構いません。ただし、短くしても、毎日取り組ませることが大事です。そのために、ときには我慢をさせることが必要です。
- お子さんが自主的に取り組もうとする環境を整えましょう。
家の人と一緒に取り組もうとする雰囲気づくりが大切です。個室ではなく、食卓や居間など、人目につく場所の方が集中力は増すとされています。家事の合間に、時々ものごきこんだり、声をかけたりすることで子供の集中力は持続します。ただし、テレビはかならず消しましょう。

2 学校で存分に力を発揮するためには、家庭での準備が必要です。

- 毎日の宿題点検で、お子さんに自信をもたせましょう。「丸つけて、自信をつけて、気をつけて」
学校で出される宿題には、最優先で取り組ませてください。そのときに、お子さんの実態によっては、家庭で丸つけをしてあげてください。学校で答え合わせをする場合でも、間違えていないという自信があれば、大きな声で発言することができます。自力でできる場合でも、まかせっきりにするのではなく、時々気をつけて見てあげるようにしてください。
- お子さんと一緒に、学用品点検をしましょう。
「勉強に必要なものを学校に持っていったか」「教科書やノートを適切に使っているか」など、時々ランドセルの中のもの確かめることは必要です。子供は、余計なものを持っていったとき自分を正当化するため、「友達も持ってきている。」と言うことがあります。でも、これを許してはいけません。また、鉛筆など必要なものが必要なだけ入っているか、確認をお願いします。

3 お子さんとの会話を工夫することで、豊かな心や頭が育ちます。

- 日常会話の中で、お子さんの話す力、聞く力を育てましょう。
話す力、聞く力は、授業だけで身に付くものではありません。日常生活の中で、たくさんお子さんに話したり、聞いたりするチャンスをつくってあげてください。そのために、会話を深めたり、広げたりする問いかけを通じて、お子さんの気持ちや言葉を引き出してあげてください。
・深める問いかけ「それでどうなったの」「どうしてそうなったの」「それってどういうこと」
・広げる問いかけ「ほかに何をしたの」「お友達はどうしたの」 など
- お子さんとの会話を通じて、人にやさしく、自分を律する強い心を育てましょう。
大人の行動を見たり、大人と話したりすることで、子供は自分なりの規範意識を形成します。人の悪口や怠け心には注意をしてください。また、人を思いやったり、努力したりする姿勢、態度にはたくさん褒め言葉をあげてください。
- お子さんとの会話を楽しみましょう。
難しく考えず、会話を楽しもうとする雰囲気が大切です。そのために重要なものは、スマイル(笑顔)です。子供の発言にうなずき、同意してあげることで、子供は認められたと感じます。おやつや夕食の時間を利用して会話はずみです。そのためには、家族みんなの協力が欠かせません。

宿題や読書のほかに、子供が家庭で自分の設定した学習に取り組む習慣づくりをお勧めします。宿題が多いときや用事があるときは、無理に行う必要はありません。しかし、発達段階に応じて、お子さんが椅子に座って勉強に取り組める態勢を徐々に増やしていきたいと考えています。

そのためには、家庭での支援は欠かせません。無理せず、でもあきらめず、繰り返し声かけをして取り組ませていきましょう。

わずか10分でも1年間では60時間を超えます。積み重ねることで、お子さんに自信がつくはずですよ。

○ 読み、書き、計算の繰り返し

- ・家庭学習を始める初期の頃は、漢字や計算、日記、音読などの繰り返し学習がお勧めです。パターンを示してあげることで、容易に取り組むことができます。
- ・練習した問題をテスト形式で評価してあげることで、学習の成果をすぐに確認することができます。
- ・丸付けやサイン、コメントなどを工夫することで、子供の意欲は高まります。

例

日付けを書きます

10月31日	10月31日
① 9 + 8 = 17	⑥ 本をよむ
② 8 + 8 = 16	⑤ きみ
③ 5 + 10 = 15	④ 大きな
④ 6 + 7 = 13	③ さつ
⑤ 11 - 3 = 8	② じが
⑥ 13 - 5 = 8	① かん
⑦ 16 - 7 = 9	う のん
⑧ 20 - 6 = 14	車 子

課題を書きます

○ 学校で学んだことの復習

- ・学校でどんな勉強をしたのか振り返ることができるようになると、復習は有効です。しかし、やり方が分からないと、自分一人で復習をすることは簡単なことではありません。慣れるまでは、どんな勉強をしたのか一緒に確認しながら進める必要があります。
- ・慣れてきたら、勉強でやった学習をもう一度繰り返してやってみさせるようにしましょう。

○ 自主課題

- ・繰り返し学習や復習では物足りないお子さんには、自主課題に挑戦させてみてください。
- ・課題は、興味をもっていること、不思議に思っていることなど、何でも構いません。自由に設定させてください。
- ・本や新聞、インターネットなどで調べて、ノートなどにまとめます。まとめ方も工夫させましょう。
- ・自主課題に取り組むと、勉強することがさらに楽しくなります。

☆学習コンクールに挑戦☆

- ・小学生向けの検索サイトを通じて、様々なコンクールに挑戦させてみるのもおもしろいです。
- ・自由研究や自由作品などの募集を広く行っています。個人で応募できるものも少なくありません。
- ・親子で楽しみながら、自由研究に取り組むのも楽しいです。

保護者の声かけが重要です！